

# 武道における指導と評価の工夫

千葉県香取市立佐原第五中学校 教諭 高梨 知彦

## 1 はじめに

本調査地区にあたる香取郡と香取市は千葉県北東部の利根川沿いに位置し、水田や里山が多く見られる地域である。香取郡市11中学校の生徒数には幅があり、最大で590名、最小で65名である。

研究対象とした武道は、我が国固有の運動文化であり、相手を攻撃したり相手の技を防御したりすることによって、勝敗を競い合うとともに、伝統的な行動の仕方や伝統的な考え方を理解させていくことが求められる。また、中学校で初めて学習する内容であることから、うまく動機づけしなから興味や関心を持たせていかなければ、生徒にとって「堅苦しい」「面倒くさい」「痛い」などの理由から敬遠されがちという現状もある。このことから各校の実態を調査し、特に興味・関心や意欲をもたせるための評価の工夫について考察してみようと考え、本主題を設定した。

## 2 研究のねらい

各校の武道における指導の実態や4観点の評価規準を調査し、その結果を共有しながら今後の指導に役立てる。

## 3 研究の概要

(1) 香取郡市11中学校のアンケートによる実態調査

(2) 調査の内容および方法

### ① 調査対象

香取郡香取市内11中学校の保健体育科主任

### ② 調査内容

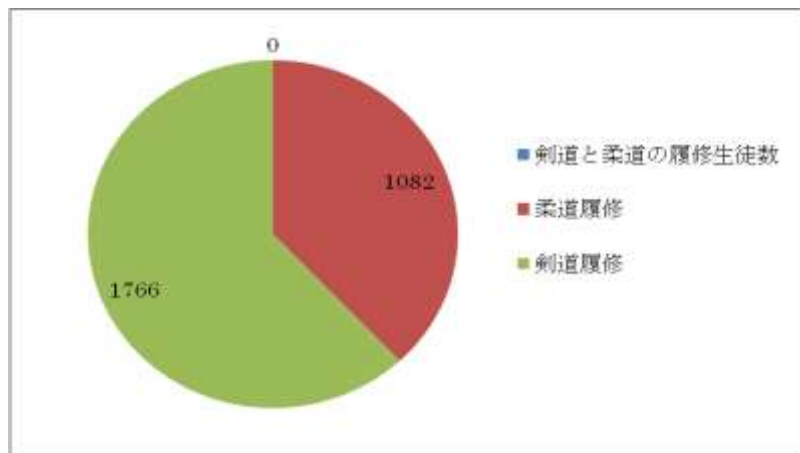
武道における指導と評価方法に関わる実態調査について

### ③ 調査方法

電子データによるアンケート調査

### ④ 調査期間

平成27年6月1日(月)～7月17日(金)



#### 4 研究の実践

##### (1) 各校の観点別評価規準（※別紙資料1参照）

各校とも国立教育政策研究所の「評価基準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料」を基に作成されており，盛り込むべき事項を踏まえている。関心・意欲・態度の観点では，礼法について細かい指導をしている学校もある。思考・判断では，自己の能力に応じた技の取得（課題解決）のための練習方法の工夫をあげている。技能では，基本技や動きを身につけ，対人技能を高めることをあげている。知識・理解では，武道の特性と技の名称などをあげている。

##### (2) 指導に当たっての実践（※別紙資料2参照）

学習形態は，中学校で初めて学習するという事なので，最初は一斉学習が中心となり，時間が進むにつれて，課題解決型に移行している。また，グループやペアづくりを工夫することで，個々の生徒の個人評価や相互評価に活かしている。

練習は，易しい動きから難しい動きへ進めている。そのため，剣道では竹刀操作や足さばきを中心に行い，柔道では，受け身をしっかりと身につけさせた上で技の練習を行っている。1・2年生では，技を覚えて繰り返し練習し，その上で得意技を身につけさせている。学年があがり技能が十分身についたから試合形式で学習しており，ここで技能や思考・判断の評価を行っている。

教材・教具については，剣道では防具や竹刀，柔道では柔道着を人数分揃えられないことが，問題としてあがっている。その結果，柔道では受け身や技の形，剣道では竹刀や木刀での形といったように，形中心の学習内容を行った学校も見られる。

I C Tの活用では，学校によって差が見られる。i p a dやビデオカメラを活用している学校があり，使用場面としては，生徒本人が自分の動きを確認したり，生徒同士のアドバイスに生かしたりしている。また，教員が技能面の評価に活用するための記録としても用いている。

安全面においては，柔道は危険な行為や技の禁止，安全マットの使用による場の工夫など，対策をしっかりと考えている。剣道では，竹刀のささくれの確認や防具の装着など，十分に配慮して行わせている。

##### 【剣道の授業の様子】



防具の装着をお互いに手伝って行っている様子。



ペアで個人目標とする技の練習をしている様子。



互角稽古（試合練習）の様子。



始めと終わりは蹲踞と礼を必ず行わせる。



導入において竹刀に打ち込んでいる。女子のグループ。



教師の説明の様子。姿勢は正座が安座，蹲踞など。

(3) 指導計画と評価計画から (例として1・2年剣道)

時配	ねらい・学習活動	評価基準との関連				学習活動における評価方法等 評価基準 ( ) 内は方法
		関	思	技	知	
1	オリエンテーション					
	1 学習のねらいや進め方を確認する。				○	・学習の進め方を知っている。(観察)
	2 班を決める。					
2	3 準備運動の仕方を確認する。				○	・準備運動の仕方を知っている。(観察)
	1 正座の仕方や礼法, 竹刀の扱い方を知り練習する。	○			○	・折り目正しく礼ができ, 竹刀を丁寧に扱うことができる。(観察)
	2 基本動作練習(構え・足さばき)をする。	○		○		・正しい姿勢で構え, 滑らかな足さばきで, 意欲的に練習ができる。(観察・学習カード)
	3 上下素振り, 正面素振りの練習をする。	○		○		・刃筋の通った振り方で, 大きな声を出して練習することができる。(観察・学習カード)
	4 防具の扱い方を知り, 付け方の練習をする。	○			○	・防具の扱い方を理解し, 正確に防具の着装ができる。(観察)
	5 相互評価を行う。	○	○			・友達の努力を認め合い, 協力して話し合いができる。(相互評価カード)
3	6 自己評価を行う。		○		○	・自分の課題を理解している。(観察・学習カード)
	ねらい1 自分から積極的に技をしかけて 五角稽古できるようにする。					
	1 しかけ技・引き技の練習を行う。 ・面 ・小手 ・胴 ・小手一面 ・引き技	○		○		・刃筋の通った振り方で, 正確な打突部位を大きな声で打ち込むことができる。(観察・学習カード)
	2 五角稽古を行う。	○		○		・踏み込みを意識して打突することができる。(観察・学習カード)
	3 相互評価を行う。	○	○			・打突後の足さばきや残心までを意識して練習ができる。(観察・学習カード)
4 自己評価を行う。	○			○	・折り目正しく礼法ができる。(観察)	
~	1 しかけ技・引き技の練習を行う。 ・面 ・小手 ・胴 ・小手一面 ・引き技	○		○		・練習した技を積極的に出せる。(観察・学習カード)
					○	・折り目正しく礼法ができる。(観察)
					○	・友達の努力を認め合い, 協力して話し合いができる。(相互評価カード)
					○	・自分の課題を理解している。(観察・学習カード)
					○	・刃筋の通った振り方で, 正確な打突部位を大きな声で思い切り打ち込むことができる。(観察・学習カード)
					○	・踏み込んで打突できる。(観察・学習カード)
					○	・打突後の足さばきや残心までできる。(観察・学習カード)

竹刀の扱い方や素振り, 正しい姿勢など, 観察によって評価している。

掲示資料や学習カードをもとに相互評価や自己評価を行う。

五角稽古(試合練習)を行い, 練習した成果を評価する。

## 5 研究のまとめ

### (1) 考察

関心・意欲・態度の観点に関する内容では、武道は男女で行うことができ、剣道の楽しさを女子も味わうことができるよう工夫した指導を行っている。また、礼法を身につけるための指導とその評価もされている。安全面への配慮もしっかりとされている。武道の特性を指導し、評価することができる。

思考・判断の観点に関する内容では、剣道部員をリーダーとしてグループ編成やペア学習を行うことで、教え合い活動や言語活動が活発に行われ、技能のポイントを確かめ合ったり、学習カードの継続的活用により、適切な課題を見つける力が身につく、課題解決学習が効率的に行われたりしている。また、ICT機器で自分の投げ技のフォームを映し出し分析し合うことによって、適切な課題を見つけ、技の習熟を図る工夫がされている。

技能に関する内容では、柔道では受け身から投げ技や固め技まで、剣道においては、竹刀のみを使用して行う場合は形の習得を、防具をつけて行う場合は、技を習得しながら特性である攻防まで行っている。

知識・理解の観点に関する内容では、全体を通して、技能のポイントの資料をわかりやすく掲示したり、指導者（外部も含む）や部活動生徒の模範を見せたりすることで、礼法や道具の名称・基本的な動きや技のポイントを理解することができる。

### (2) 課題

防具や竹刀数の確保について問題を抱えている学校が多く、これにより学習する内容が変わっているので、指導する内容と評価については学校間で違いがあることがわかった。

観点別評価規準の作成がきちんと行われ、生徒自身の自己評価や生徒同士の相互評価についても行われているが、実際に指導している保健体育科の教員が、武道の指導について不安を抱えており、今後も県の講習会で資格をとったり、伝達講習会に積極的に参加したりするなどして、指導力を高めていく必要がある。また、学校によっては外部講師との連携や剣道有段者の教員の協力を得ることを更に進め、指導と評価の工夫改善をはかっていかなければならない。

## 参考文献

- ・中学校学習指導要領 文部科学省
- ・中学校学習指導要領解説保健体育編 文部科学省
- ・評価規準の作成，評価方法の工夫改善のための参考資料 中学校保健体育 国立教育政策研究所
- ・絶対評価とルーブリックの理論と実際 高浦勝義 著
- ・中学校武道の必修化を踏まえた「剣道授業の展開」 財団法人 全日本剣道連盟
- ・剣道の授業づくり 大修館書店 巽 申直 恵土 孝吉 木村清人 編著
- ・学校体育の指導と評価 廣済堂あかつき 石川泰成 木村清人 監修
- ・柔道の基本指導 財団法人 全日本柔道連盟